

## 第3回 部会検討結果報告書（文化・学習部会）

### グループA

|                     |                             |           |                 |      |
|---------------------|-----------------------------|-----------|-----------------|------|
| <b>記録者</b>          | 林 俊泰                        | <b>場所</b> | 市役所北庁舎3階第1～3会議室 |      |
| <b>開催日時</b>         | 令和2年9月19日（土）午前10時00分～12時00分 |           |                 |      |
| <b>出席者<br/>（4名）</b> | 石井 美知                       | 小島 由美子    | 小林 廣和           | 林 俊泰 |

|              |                   |  |  |  |
|--------------|-------------------|--|--|--|
| <b>基本施策名</b> | 3-4 生涯にわたる学習活動の推進 |  |  |  |
| <b>内容</b>    | 別紙：見直し論点シートのとおり   |  |  |  |
| <b>その他</b>   |                   |  |  |  |

|              |                 |  |  |  |
|--------------|-----------------|--|--|--|
| <b>基本施策名</b> | 3-5 文化・芸術活動の支援  |  |  |  |
| <b>内容</b>    | 別紙：見直し論点シートのとおり |  |  |  |
| <b>その他</b>   |                 |  |  |  |

|              |                 |  |  |  |
|--------------|-----------------|--|--|--|
| <b>基本施策名</b> | 3-6 スポーツ活動の支援   |  |  |  |
| <b>内容</b>    | 別紙：見直し論点シートのとおり |  |  |  |
| <b>その他</b>   |                 |  |  |  |

## グループB

|                     |                             |           |                 |       |  |
|---------------------|-----------------------------|-----------|-----------------|-------|--|
| <b>記録者</b>          | 高田 朋幸                       | <b>場所</b> | 市役所北庁舎3階第1～3会議室 |       |  |
| <b>開催日時</b>         | 令和2年9月19日（土）午前10時00分～12時00分 |           |                 |       |  |
| <b>出席者<br/>(4名)</b> | 千葉 岳志                       | 藤井 加津子    | 西郷 匠            | 高田 朋幸 |  |

|              |                   |  |  |  |
|--------------|-------------------|--|--|--|
| <b>基本施策名</b> | 3-4 生涯にわたる学習活動の推進 |  |  |  |
| <b>内容</b>    | 別紙：見直し論点シートのとおり   |  |  |  |
| <b>その他</b>   |                   |  |  |  |

|              |                 |  |  |  |
|--------------|-----------------|--|--|--|
| <b>基本施策名</b> | 3-5 文化・芸術活動の支援  |  |  |  |
| <b>内容</b>    | 別紙：見直し論点シートのとおり |  |  |  |
| <b>その他</b>   |                 |  |  |  |

|              |                 |  |  |  |
|--------------|-----------------|--|--|--|
| <b>基本施策名</b> | 3-6 スポーツ活動の支援   |  |  |  |
| <b>内容</b>    | 別紙：見直し論点シートのとおり |  |  |  |
| <b>その他</b>   |                 |  |  |  |

## グループC

|                     |                             |           |                 |       |
|---------------------|-----------------------------|-----------|-----------------|-------|
| <b>記録者</b>          | 伊藤 啓幸                       | <b>場所</b> | 市役所北庁舎3階第1～3会議室 |       |
| <b>開催日時</b>         | 令和2年9月19日（土）午前10時00分～12時00分 |           |                 |       |
| <b>出席者<br/>(4名)</b> | 丸山 悦子                       | 結城 太一     | 諫山 桜子           | 伊藤 啓幸 |

|              |                   |  |  |  |
|--------------|-------------------|--|--|--|
| <b>基本施策名</b> | 3-4 生涯にわたる学習活動の推進 |  |  |  |
| <b>内容</b>    | 別紙：見直し論点シートのとおり   |  |  |  |
| <b>その他</b>   |                   |  |  |  |

|              |                 |  |  |  |
|--------------|-----------------|--|--|--|
| <b>基本施策名</b> | 3-5 文化・芸術活動の支援  |  |  |  |
| <b>内容</b>    | 別紙：見直し論点シートのとおり |  |  |  |
| <b>その他</b>   |                 |  |  |  |

|              |                 |  |  |  |
|--------------|-----------------|--|--|--|
| <b>基本施策名</b> | 3-6 スポーツ活動の支援   |  |  |  |
| <b>内容</b>    | 別紙：見直し論点シートのとおり |  |  |  |
| <b>その他</b>   |                 |  |  |  |

# 見直し論点シート

| 番号  | 基本施策名         | 主担当部    | 主担当課    | 関係課 |
|-----|---------------|---------|---------|-----|
| 3-4 | 生涯にわたる学習活動の推進 | 文化スポーツ部 | 文化生涯学習課 | 図書館 |

|        |
|--------|
| ver 情報 |
|        |

## ア. 第6次総合計画後期基本計画の進捗状況

| 基本施策全体の進捗状況 | 平均値 | 施策名              | 進捗状況            | 施策名 | 進捗状況 |
|-------------|-----|------------------|-----------------|-----|------|
| 目標達成に向けて順調  | 2.5 | 学習機会の提供と環境づくりの推進 | 3：目標達成に向けて順調    |     |      |
|             |     | 図書館サービスの充実       | 2：やや遅れているが、概ね順調 |     |      |

## イ. これまでに（第6次総合計画期間に）得られた成果・残された課題

|         |   |
|---------|---|
| 主な取組と成果 | <p><b>【学習機会の提供と環境づくりの推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習審議会の運営では、教育委員会に対し、市の生涯学習施策に関する審議会の答申を受けることで、適切な施策実施に役立っている。<b>【B】（審議会・教育委員会・市の関係性や役割を明確に記載してほしい。意見が出せない。）</b></li> <li>平成31年度から8年間を計画期間とする「第3次府中市生涯学習推進計画」を策定した。<b>【B】（総合計画と期間にズレがあるが良いのか？）</b></li> <li>公民館事業では、地区公民館の活用、PTA連合会の協力により、地域での学習機会の提供を継続している。</li> <li>心身障害者(児)への学習支援事業では、市民ボランティアによる企画運営により、障害のある人もない人も事業に参加しており、ノーマライゼーション<b>【B】「ノーマライゼーション」がキーワードであれば、エ・オでも言葉が出てくるべき。意識の醸成に貢献している。【B】教育の枠であり、生涯学習の枠ではない。</b></li> <li>生涯学習機会創出事業では、生涯学習センターの管理運営に指定管理者制度を導入することで、民間事業者のノウハウを活用した講座メニュー設定など、サービス向上と利用者の大幅な増加を実現した。</li> <li>生涯学習フェスティバルでは、実行委員会型式での運営による市・市民・指定管理者の協働の形が定着し、市民の生涯学習活動に関する成果発表と意識啓発の場としての役割を担っている。</li> </ul> <p><b>【図書館サービスの充実】【B】（件数、割合の判断基準を記載してほしい。）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の調べもの相談として、カウンターやWEB、電話等によるレファレンスサービスの充実を図った。（後期R3目標値4, 450件点→H30実績4, 845件 108.9パーセント）</li> <li>平成29年度に実施した図書館情報システム更新と同時期にPC版HPのリニューアル・スマートフォン版HPを新たに開始し利便性を図ることで、検索機能の充実とともにインターネット予約の利用を促進した。（リクエスト件数 導入前H28年度 516, 496件 導入後H30年度 530, 638件 14, 142件増）</li> <li>新たに開館した市民活動センタープラッツ内市政情報センターで、平成29年8月から図書取次サービス（予約図書の貸出・返却）を開始し、新たな活路を拓くことで利用者の利便性の向上を図った。（平成30年度（年間貸出総合計 12, 397点、貸出利用者数 6, 345人）</li> <li>他自治体(9市)との相互利用や、市内大学(2校)図書館と連携による講演会等の実施し、幅広い資料の収集や情報の収集、学習機会の提供に努めた。（相互利用等登録者数 H28～30平均 24, 461人）</li> <li>子どもの読書活動の総合的かつ計画的な推進を図るため、平成30年度を始期とする第4期府中市子ども読書活動推進計画を策定し、図書館の資料の充実、来館する児童・生徒への資料提供や調べ物の協力、学校との連携等により、読書の推進を図っている。（H26～30年度 おはなし会年間平均参加人数 2, 239人）</li> <li>障害のある方や高齢者など図書館利用に支障のある方へのサービスを充実した。（宅配サービス延回数 H28～30平均 205回、対面朗読回数 H28～30平均 119回）</li> </ul> |
|---------|---|

## エ. 次期総合計画策定に向けた見直しの論点

|  |
|--|
| <p><b>【学習機会の提供と環境づくりの推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>【A】・生涯学習の広報の強化として、商業施設などのプロモーションの展開、ホームページ、SNSを活用した生涯学習情報の提供など、多様な媒体を使った取り組みを進める。</b></li> <li><b>【A】・社会人への学習ニーズへの対応として夜間帯に能力拡大につながる講座を企画する。また、講座のコンシェルジュサービスを実施する。（受講の前段階として、受講者が自身のレベル・適性を把握できるサービス）</b></li> <li>「学習成果の活用による地域課題の解決」を意識した、生涯学習事業の実施</li> <li>生涯学習を通じて「学び」と「活動」をつなぐ、地域での連携のしくみづくり</li> <li>学校、家庭、地域の連携による、地域教育力の向上</li> <li>生涯学習を地域につなげる人材の育成や登用</li> <li>施策の拠点となる施設(生涯学習センター、公民館<b>【B】、文化センター、市民活動センター</b>)の持続的な運営を支えるための取組の実施<b>【B】高齢者も参加しやすいよう、公民館を積極的に活用する。</b></li> <li>生涯学習センターの老朽化に対応した施設改修の計画的な実施</li> <li><b>【B】・第3次府中市生涯学習推進計画で、「学び返し」を重要なキーワードとしているのであれば、社会人向け講座を積極的に行うなど具体的に記載してほしい。</b></li> <li><b>【B】・新型コロナウイルスによる影響など、時代によりニーズは変化することから、講座をより効果的にするために、ニーズ調査を実施</b></li> <li><b>【B】・オンラインや在宅のアイデアを検討する。</b></li> </ul> <p><b>【図書館サービスの充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>【A】・電子書籍の導入。図書館情報システムを構築し、来館しなくてもサービスの利用を可能とする利用方法を併せて検討する。</b></li> <li><b>【A】・各世代に向けたサービスの強化を実施する。</b></li> </ul> |
|--|

## オ. 協働の実践に向けて

|   |
|---|
| <p><b>【学習機会の提供と環境づくりの推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題の解決に資する講習・講座の実施支援</li> <li>市民、学校、関係団体との連携による、生涯学習事業の実施支援</li> <li>市民、学校、関係団体との連携による、学習成果を生かせる活動の場の提供の支援</li> <li>市民・関係者の主体性やノウハウをさらに活用した、障害者(児)への社会教育事業の実施支援</li> <li><b>【A】・施設改修計画策定への市民・利用団体の参画</b></li> </ul> <p><b>【図書館サービスの充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央・地区図書館それぞれの地域において市と市民（ボランティア）等と連携した情報発信の取組の強化</li> <li>市民の読書活動の推進を図るため、児童やハンディキャップサービスのボランティアへの修得レベルに応じた研修の継続的な実施</li> <li>学校図書館と公立図書館との読書推進に繋がる連携の強化</li> <li>就労に繋がる支援策として地元企業との連携による情報提供</li> <li>貴重な地域資料を所蔵する市民や企業との繋がり機会の創出</li> </ul> |
|---|

# 見直し論点シート

| 番号  | 基本施策名         | 主担当部    | 主担当課    | 関係課 |
|-----|---------------|---------|---------|-----|
| 3-4 | 生涯にわたる学習活動の推進 | 文化スポーツ部 | 文化生涯学習課 | 図書館 |

|        |
|--------|
| ver 情報 |
|--------|

|        |  |
|--------|--|
| 残された課題 | <p>【学習機会の提供と環境づくりの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国・東京都の施策から、学校・家庭・地域、それぞれの教育活動の連携を強化する動きがあるため、本市における施策事業について、生涯学習審議会からの意見を踏まえ、内容を検討する必要がある。</li> <li>生涯学習機会創出事業では、事業実施の中心となっている生涯学習センターの老朽化が進行しているため、中長期的な施設改修・修繕についての対応が必要とされている。</li> </ul> <p>【B】・生涯学習センターがあまり活用されていないと感じる。学習スペースが少なく、スポーツ施設の様になっていると感じる。立地もあまり良くない。</p> <p>【B】・生涯学習事業を子ども対象にするのか、未就学児から大人までを対象とするかなど、対象に応じた取組を行う必要がある。</p> <p>【図書館サービスの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民1人あたりの年間図書等貸出数(後期R3目標値10.2点→H30実績8.1点 79.4パーセント)や利用者登録数(後期R3目標値165,500人→H30実績151,479人 91.5パーセント)は、毎年減少傾向【B】(減少傾向を防ぐための前向きな検討をしてほしい。)である。子どもの読書離れを防ぐための未就学児や小学生向けのおはなし会、幅広い年代に向けての講演会やイベント等に加えて時期に合った特集展示など、身近な情報発信拠点としての図書館の魅力が利用者に届く事業の実施に工夫が必要である。</li> </ul> <p>【C】・利用者を増やすための取組みとしての利用登録の簡素化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書や雑誌、視聴覚資料等のデジタル化が進む中、印刷した紙媒体での資料の蔵書は市立図書館として必須だが、電子書籍の導入などの要望に応えるための図書館情報システムの構築や機器等の導入は課題である。</li> <li>歴史的に貴重な地域資料は、利用者の研究や知的好奇心を刺激する大切な資料である。しかし、図書資料等の劣化は日々進進行するため、後世に大切な資料を末永く繋ぐための保存対策が急務である。</li> </ul> <p>【C】・施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化</p> |
|--------|--|

|   |
|---|
| <p>(年代ごとに最適な情報提供方法の工夫、世代別の情報コーナーの充実など)</p> <p>【A】・地域図書館での自習スペースの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書する機会提供に加え、地域の情報拠点及び交流拠点としての機能</li> <li>「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校との連携の強化</li> <li>産業や商工、健康福祉部門等と連携した個人のスキルアップや就業等の支援</li> <li>地域資料の寄贈や新たな掘り起こしによる資料の収集及び保存することでの利用者への提供</li> </ul> <p>【B】・(デジタル化について、課題としてあがっているが、記載がない。)</p> <p>【B】・司書の人員を増やすなど、学校図書館を有効活用し、子どもたちへのアプローチを充実させる。</p> <p>【C】・相互利用自治体を増やし、幅広い情報の収集や連携を得られるようにする。</p> <p>【C】・電子書籍・デジタル媒体の導入(特に絵本など子ども向けのものの充実を図りたい。)</p> <p>【C】・貸出サービスの検討(宅配貸出や貸出の予約をオンラインで行い、借りる時だけ近所の施設や図書館で受け取れるようなサービスの導入)</p> |
|---|

## ウ. 今後、予想される新たなニーズ・課題

|  |
|--|
| <p>【学習機会の提供と環境づくりの推進】</p> <p>【A】・府中市の生涯学習に関する市民アンケートでは、今後充実してほしいサービスとして「情報発信の充実」が最多数であったため、広報の強化が求められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のニーズへの対応や課題解決のための学習成果の活用など、生涯学習を通じた市民の地域社会への参加について検討が必要。</li> <li>職業教育【C】(→具体的にどのようなものなのか。職業訓練に近いものであれば、支援の充実や活性化をさせたい。)や学び直しの機会・しくみの充実が求められ、社会人向け講座やビジネススクールなど社会人の学習ニーズが増大している。</li> </ul> <p>【C】・民間企業や団体との連携を図り、ニーズに基づいた講座の開設や募集を行う。ただ講座を開設した、資格を付与しただけでは成果はみられないので、その後につながるため(学んだことを地域に生かせる、住みよいまちづくりへ寄与するなど)の取組みとなるようなものを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校・家庭・地域の連携による教育環境の整備とともに、自治体、学校、地域団体(NPO等)、民間企業、コミュニティが、地域ぐるみで地域人材を育成するしくみの構築が求められる。</li> </ul> <p>【図書館サービスの充実】</p> <p>【A】・新しい学習指導要領の理念「社会に開かれた教育課程」が掲げられたことにより、公共図書館と学校との連携の強化が求められている。</p> |
|--|

# 見直し論点シート

| 番号  | 基本施策名         | 主担当部    | 主担当課    | 関係課 |
|-----|---------------|---------|---------|-----|
| 3-4 | 生涯にわたる学習活動の推進 | 文化スポーツ部 | 文化生涯学習課 | 図書館 |

|        |
|--------|
| ver 情報 |
|        |

|   |
|---|
| <p><b>【B】・移動図書館のようなアウトリーチ活動で様々な情報収集を行うことが必要。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用の新たなニーズとして、図書館に来館することで新たな情報を収集し、おはなし会などを通じた本との出会いの場となる今までのニーズに加え、図書資料等の情報提供としての媒体のデジタル化が進む中で、電子書籍やデジタルアーカイブを通して、来館しなくても資料の閲覧や活用が可能となる利用方法の導入や促進が必要となる。</li> <li>・利用者からのレファレンス件数が増加していることから、地域課題の解決や地域の先駆的・主体的な取組の支援となる機能としての体制の強化が必要。</li> </ul> <p><b>【C】・利用者を増やすための取組みとしての利用登録の簡素化。（PCやスマートフォンからも手続きができ、カードもスマホカードで対応できるようにする。）</b></p> |
|---|

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

## カ. 第6次総合計画（基本構想）における「めざすまちの姿」の見直し

|                        |  |
|------------------------|--|
| 「めざすまちの姿」              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>【B】生涯にわたり、</b>市民一人ひとりが学習に親しみ、生きがいを持っています。また、学習活動を通して人とのつながりを深め、学んだことを地域などで活かしています。</li> <li>・市民はそれぞれ自分の「学び」を見つけることができ、学習に必要な情報や機会にアクセスできます。</li> <li>・市民は<b>【A】身近な場所や情報機器の活用により、図書館サービスを利用でき、情報を収集し、</b>の利用や生涯学習情報の収集が可能となり、学習活動や文化活動に活用しています。</li> </ul> |
| ※斜体は市担当課が見直し<br>見直しの理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の図書館情報システムの構築では電子書籍の導入等により利用者が保有するパソコンやモバイル等の機器を活用し、来館しなくても24時間、一部の図書館サービスが可能と見込まれるため利用範囲を広げた。</li> <li><b>【A】・情報機器の活用は生涯学習分野にも当てはまるため。</b></li> </ul>   |

# 見直し論点シート

| 番号  | 基本施策名      | 主担当部    | 主担当課    | 関係課          |
|-----|------------|---------|---------|--------------|
| 3-5 | 文化・芸術活動の支援 | 文化スポーツ部 | 文化生涯学習課 | ふるさと文化財課、美術館 |

|        |
|--------|
| ver 情報 |
|        |

## ア. 第6次総合計画後期基本計画の進捗状況

| 基本施策全体の進捗状況 | 平均値 | 施策名           | 進捗状況         | 施策名 | 進捗状況 |
|-------------|-----|---------------|--------------|-----|------|
| 目標達成に向けて順調  | 3.0 | 市民の文化・芸術活動の支援 | 3：目標達成に向けて順調 |     |      |
|             |     | 文化施設の有効活用     | 3：目標達成に向けて順調 |     |      |
|             |     | 歴史文化遺産の保存と活用  | 3：目標達成に向けて順調 |     |      |

## イ. これまでに（第6次総合計画期間に）得られた成果・残された課題

|         |  |
|---------|--|
| 主な取組と成果 | <p><b>【市民の文化・芸術活動の支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民芸術文化祭は、市と市民団体である市民芸術文化協会が主催し、市内各所の文化施設を利用して多種多彩な文化芸術発表を行なっている。<b>【C】→大規模にやりすぎているように見える。(多くのイベントがあるが、場所も期間も様々なので、ひとまとめにした方が人も集まり、注目を集めるのではないか。)</b></li> <li>伝統芸能である武蔵国府太鼓の講習会は毎年子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方が受講され、約1年間をかけて演奏技術の習得とその発表を行なっている。H27より受講年限の見直しを行なったが、目標値への達成率は100パーセント以上であった。</li> <li>府中市美術館は、優れた作品との出会いにより美術文化に対する深い理解と親しみをもち、より豊かな美意識を育める場となるように、企画展を催す。子どもの鑑賞活動を深めて、豊かな情操を養える企画展を開催する。本美術館の主催又は共催により、国内外の優れた美術作品を紹介する企画展を開催した。</li> </ul> <p><b>【文化施設の有効活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>府中の森芸術劇場は、3ホールそれぞれの特性を活かした事業の展開により目標稼働率を達成。(H23：72.1パーセント⇒H30：76.1パーセント)</li> <li>府中の森芸術劇場自主事業は、音楽・演劇・講座など内容に趣向を凝らしたことにより入場者数は増となっている。(H23：448,366人⇒H30：508,720人)。</li> <li>府中の森芸術劇場分館は、府中駅直近の利便性もあり、高い稼働率を維持している。(H30：90.2パーセント)</li> <li>郷土の森博物館は、プラネタリウムリニューアルの相乗効果と梅をはじめとした園内樹木の整備を進め、入場者数(H30年度274,662人)は目標値の82.5パーセントを達成。</li> <li>府中市美術館では、利用者の安全対策や利便性向上のため、施設整備に努めてきたが、今後は、利用者の満足度をさらに高めるため、利用者に親しまれる施設運営に努めていくことが必要である。</li> </ul> <p><b>【歴史文化遺産の保存と活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財は、市民・事業者等の協力によって発掘調査を実施し、府中市の歴史解明のさらなる進展が図れている。</li> <li>武蔵府中熊野神社古墳公園（平成31年4月26日供用開始）及び国司館と家康御殿史跡広場（平成30年11月25日供用開始）の第一期整備が完了、供用が開始されたことに伴い、より多くの市民へさらなる文化財の周知ができた。</li> <li>ふるさと府中歴史館では、武蔵国府跡の発掘調査成果を中心とする展示をはじめ、くらやみ祭展や発掘お宝展等を開催し、市の歴史的公文書の収集・保管にも努めた。（ふるさと歴史館入場者数：平成23年度44,152人→平成30年度79,642人）</li> </ul> <p><b>【C】→様々なコンテンツがあるので、もっと周知をしていきたい。外国人向けを含め、アピールが足りないように感じられる。(ex.市の所管施設ではないが、大国魂神社をみても、英語や外国語の案内が少ない。夜に明かりがつかっていないので、市民が触れるタイミングが限られる。)</b></p> |
|---------|--|

## エ. 次期総合計画策定に向けた見直しの論点

|  |
|--|
| <p><b>【市民の文化・芸術活動の支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民芸術文化祭は、市民の文化芸術の最大の事業であることから、<b>【A】若い世代をはじめ、誰もが参加・参観しても魅力ある事業への見直しを検討【A】する。そのために、ターゲット世代とコンテンツの見直しを行う。見直しにあたっては、市民団体・企業等が事業内容の検討や運営のプロセスに参加する。</b></li> <li>美術館として市民の文化芸術の最大の事業である市民芸術文化祭を市民ギャラリーで継続して開催できるよう施設の維持管理に努める。</li> <li>「市民文化の日」の<b>【B】周知及び活用【A】市内の各会場で同日に事業を展開することで、市を挙げた文化事業とする。</b></li> <li><b>【B】・若い世代向けの企画の実施。(ポップアートやJAZZ in FUCHUなど)</b></li> <li><b>【B】・音楽活動の推進</b></li> <li><b>【B】・情報機器による新たな広報・周知。</b></li> </ul> <p><b>【文化施設の有効活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>【A】ライフスタイルの変化に対応する環境整備を進める。(展示施設の夜間開館など)</b></li> <li><b>【A】展示内容の充実。身近に感じられる題材を使用した企画の実施。(流行した漫画・アニメ作品とのタイアップなど)</b></li> <li>府中の森芸術劇場は、老朽化に伴う大規模改修の計画的実施を必要としている。</li> <li>郷土の森博物館は、本館建物をはじめ、園内復元建築物と園内を含めた総合的な改修計画を必要としている。</li> <li>美術館は開館から20年となり、経年劣化に伴う大規模改修を計画的に実施する。</li> </ul> <p><b>【C】・ネーミングライツの活用や広告掲示などの検討。</b></p> |
|--|

## オ. 協働の実践に向けて

|  |
|--|
| <p><b>【市民の文化・芸術活動の支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>【A】・市民芸術文化祭のコンテンツ見直しに伴い、企業の参入を求める。</b></li> <li>市民芸術文化祭の参加や参観者の増加を促すために、市民の自主的・自立的な活動を市は継続して支援し、市民文化の振興を図っていく。</li> <li>民俗芸能の伝承と普及活動は市と市民団体が協働して現在の活動を継続的に実施していく。</li> <li>美術鑑賞教室を継続して実施する。</li> </ul> <p><b>【C】・多くの市民が触れ、関わられるよう、中学校のイベントなどで芸術活動を行えるようにする。</b></p> <p><b>【文化施設の有効活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>郷土の森博物館の老朽化対策について、関係部署や指定管理者（運営グループ）と連携し、運営への影響を最小限にしながら、改修する方策を検討する。</li> <li><b>【A】地元芸術家との協働</b></li> <li><b>【A】施設改修計画への利用団体等の参画。</b></li> </ul> <p><b>【歴史文化遺産の保存と活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者の負担を軽減するため、遺跡調査会と協働して、早期に調査できる体制を整備していく。</li> <li>令和5年度の完了に向け、</li> </ul> |
|--|

# 見直し論点シート

| 番号  | 基本施策名      | 主担当部    | 主担当課    | 関係課          |
|-----|------------|---------|---------|--------------|
| 3-5 | 文化・芸術活動の支援 | 文化スポーツ部 | 文化生涯学習課 | ふるさと文化財課、美術館 |

|        |
|--------|
| ver 情報 |
|        |

残された課題

## 【市民の文化・芸術活動の支援】

- ・市民芸術文化祭は、参加者・参観者が年々減少しており、また、若い世代の参加が少ない。その解消に向けた魅力ある事業の企画や実施、効果的なPRの見直しが必要である。
- ・府中市美術館は、魅力ある企画展覧会、所蔵品展覧会の開催に努め、より多くの来館者とリピーターを確保していくことが求められる。

## 【文化施設の有効活用】

- ・郷土の森博物館プラネタリウムは、市内外への広報をさらに進めるほか【C】（→もっと発信の工夫を！）、番組構成・内容についても博物館入場者のニーズに合わせた見直しによりリピーターの確保を図る。
- ・施設の老朽化に対応するため、予算の中で優先順位を付けて、施設を計画的に修繕していくことが必要です。さらに、今後は予算増加が難しい状況から、安価でかつ市利用者に満足していただける事業展開を図ることが必要である。

## 【歴史文化遺産の保存と活用】

- ・市民の理解・協力により実施してきた埋蔵文化財発掘調査の成果をいかに市民に還元するか、過去の発掘成果を公にする調査報告書の早期刊行、開発事業者に負担を求めている発掘調査について、方法等のさらなる効率化などが課題である。
- ・ふるさと府中歴史館において、話題ある時事に関連した展示及び市史編さんによる企画等の研究・充実に努め、さらに多くの方に文化遺産の理解を深めてもらう。
- ・国司館と家康御殿史跡広場の第二期整備工事を進め、史跡の保存・整備の継続を基本としながらも、たくさんの方に史跡の魅力を知ってもらえるよう、活用を図る必要がある。
- ・新庁舎への機能移転に伴う公文書館機能の維持及び公文書の保存・収集・活用の在り方について検討する必要がある。

【C】・SNSを活用した情報発信や周知、情報共有などを図る。

## 【歴史文化遺産の保存と活用】

【A】・遺跡調査への親しみ、関心を高めるため、体験型の事業を企画する。（実際に発掘ができる催しなど）

- ・埋蔵文化財発掘調査体制の見直し
- ・ふるさと府中歴史館の新庁舎への機能移転と、公文書館機能の移転及び公文書の保存・収集・活用の新たな方策の検討
- ・国司館と家康御殿史跡広場の第二期整備工事の推進

【B】・子どもから大人まで幅広い世代を対象とし、郷土かるたを利用したプロモーションを実施する。

【B】・情報機器による新たな広報・周知。

【C】・身近に触れられるようなイベントの実施や外国人・市外の方も含めた積極的周知。

市民、関係機関、関係団体との協働により、専門的な視点からの利用に応える質の高い内容を保つとともに、読みやすく、わかりやすく、広く親しまれる市史刊行物の発行を進めていきたい。

- ・開館後20年以上を経過する美術館の全館的な大規模改修を、全市的な改修事業の取組の中で建築施設課と調整・連携して実施する。

## ウ. 今後、予想される新たなニーズ・課題

【A】・文化・芸術活動に関わる施設や団体が個別に活動している状況から、横軸でつながり、全市的な活動に拡げる取り組みが求められる。

- ・平成26年度より10月の第2日曜日が「市民文化の日」と設定されたことから、これを契機に市民が文化芸術に親しめる環境づくりが求められる。【C】→「市民芸術文化祭」が様々なイベントが様々な時期で行われているので、できればこの日に大規模な形で行えれば良い。大規模な部分を1日にまとめることで盛り上がることも考えられ、市のアピールにつながることも想定できる。
- ・郷土の森博物館は、本館天井改修工事をはじめ、施設の維持保全のための老朽化対策が必要であり、関係各部署と連携して、計画的な施設改修が必要である。
- ・情報機器の活用により、文化活動の新たな広報の方法に活用していくことが求められる。



# 見直し論点シート

| 番号  | 基本施策名      | 主担当部    | 主担当課    | 関係課          |
|-----|------------|---------|---------|--------------|
| 3-5 | 文化・芸術活動の支援 | 文化スポーツ部 | 文化生涯学習課 | ふるさと文化財課、美術館 |

|        |
|--------|
| ver 情報 |
|        |

## カ. 第6次総合計画（基本構想）における「めざすまちの姿」の見直し

|           |   |
|-----------|---|
| 「めざすまちの姿」 | <ul style="list-style-type: none"><li>・市民が【A】文化・芸術活動や歴史文化遺産に関わる体験を通じてその価値府中の歴史や文化を理解し、親しみや誇りを持っています。また、文化的財産の保護・継承、創造が図られ、次の世代に伝える体制が整っています。</li><li>・府中の文化・芸術【B】・音楽活動、歴史文化遺産を活用したまちづくりが進み、人が集まり、まちがにぎわっています。</li><li>・【C】すべての方市民が文化・芸術【B】・音楽を楽しめる機会が充実し、心豊かな生活を営んでいます。</li></ul> |
| 見直しの理由    | <ul style="list-style-type: none"><li>【A】市民が文化・芸術活動に関わる体験をすることで、その価値を理解し、後世に伝えたいという気持ちが生まれると考えるため。</li><li>【B】音楽を芸術から切り離して推進することで、多くの若い世代を巻き込み、より一層まちのにぎわいにつながると考えるため。</li><li>【C】府中の文化・芸術に対して市民だけでなく、市外の方への周知や文化・芸術に触れてもらうことで、価値の向上やPRにつながると考えたため。</li></ul>                     |

# 見直し論点シート

| 番号  | 基本施策名     | 主担当部    | 主担当課    | 関係課 |
|-----|-----------|---------|---------|-----|
| 3-6 | スポーツ活動の支援 | 文化スポーツ部 | スポーツ振興課 |     |

|        |
|--------|
| ver 情報 |
|        |

## ア. 第6次総合計画後期基本計画の進捗状況

| 基本施策全体の進捗状況 | 平均値 | 施策名          | 進捗状況            | 施策名 | 進捗状況 |
|-------------|-----|--------------|-----------------|-----|------|
| 目標達成に向けて順調  | 2.5 | スポーツ活動の普及・促進 | 2：やや遅れているが、概ね順調 |     |      |
|             |     | スポーツ環境の整備    | 3：目標達成に向けて順調    |     |      |

## イ. これまでに（第6次総合計画期間に）得られた成果・残された課題

|         |  |
|---------|--|
| 主な取組と成果 | <p>【スポーツ活動の普及・促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ団体指導者等の指導者講習会・研修会の開催や市民体育大会・ジュニアスポーツ大会等の開催及び各種スポーツ教室の実施を通して、市民が自主的・自発的にスポーツ活動に親しめるように、スポーツの生活化を推進するとともに、市内トップチームと連携した事業などの実施や、コミスポボランティアの活用、アダプテッドスポーツとしてのボッチャの普及を通して、市民のスポーツに対する意識を高め、スポーツタウン府中の発展を目指した。</li> </ul> <p>【スポーツ環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が安全で快適にスポーツを行えるよう庭球場の維持改修工事を実施した。：栄町（H26）、小柳（H27）、若松（H28）、紅葉丘第二（H30）、市民（H30）、寿町、日新第二（R1）</li> <li>市民が安全で快適にスポーツを行えるよう総合体育館及び地域体育館の耐震工事等を実施した。：総合体育館（H29、H30、R1）、白糸台・本宿（H29）、押立・四谷（H30）、栄町（R1）</li> <li>総合体育館各体育室への空気調和機設置を実施した。：第1体育室（H26）、第2体育室（H27）、武道場（H31）</li> <li>総合体育館弓道場安土及び矢止め改修工事を実施した。（H28、H31）</li> <li>総合体育館相撲場改修工事を実施した。（H26）</li> <li>府中朝日フットボールパークをラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック大会の事前キャンプ地として使用するとともに、大会終了後のレガシーとして多くの市民に施設を利用いただけるよう整備した。（H29、30）</li> <li>市民が安全で快適にスポーツを行えるよう市民球場及び陸上競技場の夜間照明改修工事を実施する予定。（R2）</li> </ul> |
|---------|--|

|        |  |
|--------|--|
| 残された課題 | <p>【スポーツ活動の普及・促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>するスポーツの課題として、さらなるスポーツ実施率の向上のためには、継続的にスポーツをする市民の活動を促すとともに、スポーツの枠組みを広く捉えて、日常的にスポーツをしている認識を広めるよう周知が必要。</li> <li>みるスポーツの課題として、市内トップチームをはじめとしたスポーツ大会等を観戦・応援する機会を増やしていくことが必要。</li> <li>支えるスポーツの課題として、コミスポボランティアの活用やアダプテッドスポーツとしてのボッチャのさらなる普及を通じて、スポーツに関わる人口を増加させる取り組みを継続していくことが必要。</li> </ul> <p>【スポーツ環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も増加が見込まれる施設の維持管理の費用を抑えるため、公共施設マネジメントの視点を踏まえ、施設の老朽化状況に応じて効率的・合理的な施設の再編や指定管理者制度の導入検討。</li> <li>寿命の近づく総合体育館、市民総合プールにおける老朽化対策の具体化。</li> </ul> |
|--------|--|

## エ. 次期総合計画策定に向けた見直しの論点

|   |
|---|
| <p>【スポーツ活動の普及・促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進の方策の検討</li> <li>スポーツ参画人口の拡大【A】のため、ターゲットを明確にした取り組みを進める。（家族での参加がしやすい事業、各年代に適した事業など）</li> <li>トップチームの【B】積極的活用。【A】施設の無料開放日を利用した交流・体験事業など、交流の機会を増やす。</li> <li>【A】・ボッチャを起点とした、その他の障害者スポーツの普及・啓発</li> <li>アダプテッドスポーツを通じた支えるスポーツの普及</li> <li>スポーツの定義及び【A】事業展開の検討。eスポーツで事業展開を考える場合、事業の持続性（選手生命が短いことから、引退後のサポートまで検討）や、現実のスポーツとの連携（サッカーのコーチがサッカーゲームの戦術のアドバイスをを行うなど）等を検討する。</li> <li>スポーツの【B】まちの定義の検討・明確化</li> <li>【A】・学校のクラブ活動での指導など、スポーツボランティアの活用の検討。</li> <li>ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック大会後のレガシーのあり方</li> <li>【A】・世界大会が開催されるなど、時流に乗ったスポーツの事業を展開する。</li> <li>【B】・トップチームの試合を観て、市民が盛り上がるような、施設環境の整備。</li> </ul> <p>【スポーツ環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【A】公共施設マネジメントに基づき施設の最適化を進める。併せてクレークートの庭球場（武蔵台庭球場）を雨天でも利用できる構造に改修するなど、施設利用の効率化を進める。</li> <li>老朽化施設のあり方の検討及び全体育施設改修及び整備構想の策定</li> </ul> |
|---|

## オ. 協働の実践に向けて

|   |
|---|
| <p>【スポーツ活動の普及・促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「するスポーツ」「みるスポーツ」「支えるスポーツ」の新たな視点での連携</li> <li>トップチームとの連携</li> <li>障害者スポーツの普及啓発</li> <li>市内スポーツ団体（連盟・協会・総合型地域スポーツクラブ等）との協働</li> <li>【A】・IT企業・eスポーツチームとの協働</li> <li>【A】・スポーツボランティアとの協働</li> </ul> <p>【スポーツ環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設、民間施設、公園の活用</li> <li>市民ニーズを取り入れた施設改修の実施</li> <li>【B】・民間活力を導入したスポーツ施設の環境整備。</li> <li>【C】・民間活力を取り入れた施設の設置。</li> </ul> |
|---|

# 見直し論点シート

| 番号  | 基本施策名     | 主担当部    | 主担当課    | 関係課 |
|-----|-----------|---------|---------|-----|
| 3-6 | スポーツ活動の支援 | 文化スポーツ部 | スポーツ振興課 |     |

|        |
|--------|
| ver 情報 |
|        |

## ウ. 今後、予想される新たなニーズ・課題

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通じた市民の健康の維持・増進、市民の愛着の実現、街の魅力の向上、多様な主体の連携・協働</li> <li>・「するスポーツ」「みるスポーツ」「支えるスポーツ」の視点によるスポーツ参画人口の拡大</li> <li>・地域資源としてのトップチームの活用</li> <li>・スポーツへの関心喚起から実践に向けた市民の行動変容</li> <li>・スポーツの新たな視点としての「eスポーツ」*、「アーバンスポーツ」*の議論             <ul style="list-style-type: none"> <li>*eスポーツ…「エレクトロニック・スポーツ(electronic sports)」の略称。</li> <li>*アーバンスポーツ…BMX・スケートボード等の都市型スポーツ</li> </ul> </li> </ul> <p>【C】→市としてどのように整備していくか、どう関わっていくかによる。既存のものだと難しく、新規である程度整えていく必要があるが、特にeスポーツだと電子的設備が大きいかかわってくるため、民間活力が必要となってくる（NECや東芝との協働・連携など）。アーバンスポーツの場合は、アーバンスポーツ専用での設置は費用対効果の面などを踏まえても難しく、複合的施設を考慮したうえでの整備が必要となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック大会後のソフト・ハード面いづれものレガシーの活用</li> <li>・公共施設マネジメントで求められる施設の最適化と市民ニーズの多様化に伴う施設の利用機会の増とのギャップ。</li> <li>・気候変動や異常気象による被害を防ぐため、すべてのスポーツ施設で熱中症などの対策が必要になることに加え、災害に強い施設運営が求められる。【C】→現状、使用が難しい状態の総合体育館の改修や老朽化対策等では難しい。市として複合的・多機能的に使用できる大規模な施設を建設する方が、将来的なメリットも大きいのではないか。</li> </ul> <p>【C】・スポーツタウン府中をアピールできるような環境整備。市内に複数のプロスポーツチームがあるが、試合は市外で行っているなど、府中市のアピールや試合等を通して身近に触れ合う機会が得られない状況であるため、大規模な施設やスポーツに触れやすい環境の整備が必要となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツに対応できる施設整備。</li> <li>・外国人利用者の増加に伴う施設利用に係る案内の多言語化への対応。</li> </ul> |
|--|

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的・効果的な運営を目指した民間活力の活用</li> <li>・障害者スポーツの需要の把握及びそれに応じた施設整備【C】（障がい者や高齢者も使いやすい施設の整備。ユニバーサルデザインの導入。）</li> <li>・子どもがキャッチボールやサッカーの練習等を行えるような環境整備。（行える場所の設置や他の方への配慮（フェンス設置など）を踏まえた整備の検討）</li> <li>・ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック大会後のレガシーのあり方</li> <li>・近年続く異常気象による風水害等において施設の被害を最小限に止め、安定的利用が可能な施設とするための具体策の検討</li> <li>・【A】災害時水害時における避難所利用施設の明確化と施設整備方針の検討</li> <li>・外国人の施設利用に係る多言語案内に関する効果的<br/>具体策の検討</li> </ul> <p>【C】・本格的な（プロスポーツが使用できるような）施設の検討。老朽化対策を行うのにとどめるのではなく、新規で大規模なものを建設することの検討。</p> |
|--|

## カ. 第6次総合計画（基本構想）における「めざすまちの姿」の見直し

|           |  |
|-----------|--|
| 「めざすまちの姿」 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢、体力、障害の有無などに関わらず、全ての市民が【A】自身に合ったスポーツに親しんでいます。</li> <li>・「スポーツのまち・府中市」のイメージが定着しており、市全体でスポーツを楽しみ、スポーツを通じて連帯感が生まれています。</li> </ul> <p>【B】・市民が府中で活躍するトップスポーツチーム及びアスリートの試合を楽しみ、応援している。</p> |
| 見直しの理由    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・【A】年齢、体力、障害の有無など状況が異なるので、その人に合ったスポーツに親しめればよいと考えるため。</li> <li>・【B】府中の他市にはない特徴は、トップチームが多いことであるため。</li> </ul>   |